

アクションプラン全体計画（平成28～32年度）

推進項目	82 公共施設の適正配置・多用途化の推進					重要度	A	
番号・取組事業名	82001	フレイル予防事業の充実			作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31
担当部署	061400	保健福祉部 地域包括支援課			責任者	宮島 浩二	担当者	地域ケア推進担当
取組年度	H28	～	H32					
効果	その他改善							
最終目標	<p>介護保険法の改正により、介護予防・日常生活支援総合事業が位置づけられたため、フレイル予防事業の拡充を図る。フレイル予防事業の拠点となる市直営の介護予防センター「ほのぼのプラザますお」及び介護予防事業を委託している「いきいきプラザ」や市内9ヶ所の「地域包括支援センター」と連携し、フレイル予防事業の強化及び地域展開を図るとともに、最終目標として、要介護認定者数の抑制、介護保険給付費の削減を目指す。</p> <p>※フレイル予防：フレイル状態とは、健康な状態と要介護状態の中間の虚弱の状態。多くの方はフレイル状態を経て要介護状態に移行するとされており、フレイル状態を早期発見、早期解決することで要介護状態への移行を減らすことができるとされている。</p>							
年度	区分	取組内容・目標						
平成28年度	計画どおり	関係機関と連携し、市民ぐるみで「フレイル予防プロジェクト2025」を進めている。2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援した。						
平成29年度	計画どおり	フレイル予防事業の拠点である介護予防センターの機能強化のため、地域団体との信頼関係が構築されている柏市社会福祉協議会へ委託する事務を完了した。フレイル予防事業の利用者は計画値に達しなかったが、次年度へ向け、地域団体へのフレイル予防活動の支援を行う体制を作ることができた。						
平成30年度	計画どおり	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。						
平成31年度	実施	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。						
平成32年度	完了	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。						
成果指標	指標名	フレイル予防事業の利用者					単位	人
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	最終値
	当初計画値		5,500	6,500	7,000	7,500	8,000	8,000
	変更計画値	4,500						
	実績値		5,829	5,531	6,661			0
効果額	歳入増加	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	歳出削減	当初計画額						0
		変更計画額						0
		実績額						0
	計	当初計画額		0	0	0	0	0
		変更計画額	0	0	0	0	0	0
		実績額		0	0	0	0	0
	見込まれる その他効果 (金額以外)		ほのぼのプラザますお及びいきいきプラザにおける新規フレイル予防事業の展開、大学連携事業展開	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	ほのぼのプラザますお、及びいきいきプラザを拠点にフレイル予防事業を展開し、地域への事業展開の実施	

H30

アクションプラン(平成30年度)

推進項目	82 公共施設の適正配置・多用途化の推進				重要度	A			
番号・取組事業名	82001	フレイル予防事業の充実	作成日	H30.4.1	更新日	H31.3.31			
担当部署	061400	保健福祉部 地域包括支援課	責任者	宮島 浩二	担当者	地域ケア推進担当			
	区分	取組内容・目標							
平成30年度	計画どおり	2ヶ所の介護予防センターが拠点となって、養成した人材の派遣やフレイル予防プログラムの提供等を通して、地域における市民主体のフレイル予防の取組みを支援する。							
取組項目				4～6月	7～9月	10～12月	1～3月		
1	いきいきプラザ及びほのぼのプラザますおにおけるフレイル予防事業等の実施			○	○	○	○		
2	フレイルチェックのさらなる展開のため、地域サロンへ働きかけを実施			○	○	○	○		
3	養成したウォーキングサポーターと広報かしわの協働でフレイル予防啓発イベントを実施			○	○	○	○		
4	新たに開発した体操プログラムの地域展開			○	○	○	○		
5									
6									
7									
8									
9									
10									
進捗									
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	全体として計画通り進めることができている。 フレイルチェックの展開については、モデル地域において10か所全てのサロンで実施が決定しており、他地域についてはサポーターと協力しながら展開していく。 ウォーキングサポーターと広報かしわ「ぶらっとかしわ散歩」との連携イベントも、予定通り毎月行うことができている。					
進捗・実績									
年度末	成果指標名	フレイル予防事業の利用者		計画値	単位	人	実績値	単位	人
					7,000			6,661	
	達成状況【成果】	一部達成	コメント	介護予防センター主催講座の参加者数はやや減少したが、新しいコンテンツ(「かしわロコトレ!」など)による地域包括支援センター主催講座の参加者数は増加した。この結果、計画値には届かないものの、一昨年度・昨年度を上回る実績となった。 また、ロコモフィットかしわの自主グループ立ち上げ数の増加、地域サロンへのフレイル予防・健康づくり出前講座利用件数の増加のほか、介護予防センター講座受講者による自主グループが初めて立ち上がるなど、市民主体のフレイル予防活動が一層推進されつつある。					
	進捗状況【活動】	計画どおり							
計画変更(次年度以後)	取組内容	無	コメント						
	計画値	無							
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする						
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	介護予防の必要性、重要性は、今後、益々高まると思われる。従って、フレイル予防事業への期待はより一層大きくなるので、今後とも更なる事業の充実、強化、そして地域展開が図られるよう取り組まれない。					
	方向性	取組み強化							